

利賀っ子だより



R4. 4. 15

○ 「自分で考える」

小中合同運動会に向けて、今週は小中合同で「色団抽選会」「結団式」がありました。小学校では、団体演技 民謡「麦屋節」の練習も始めました。

結団式では、赤団、白団に分かれて、それぞれの場所で自己紹介、団テーマの確認が行われました。

自己紹介の時のことです。中学3年生から順に、名前と運動会に向けての意気込みや目当てを発表していきました。



【色団抽選会】

いよいよ1年生の順番になりました。入学してまだ1週間しか経っていません。全体の前で話すのは、初めての経験になります。1年生は、自分の名前はすんなりと言えましたが、その続きをどのように話すのか困っているような様子でした。

その姿を見た2年生と3年生がそばに駆け寄り、耳元でささやいています。きっとどのように話すのかを教えていたのだと思います。その様子を見ていた6年生の副団長が2・3年生に「(教えなくて) いいよ。」と声をかけていました。

1年生が考えている間、しばらく沈黙が続きました。中学生の団長が「難しいね。ありがとう。」と1年生に拍手を送り、それを合図に団のみんなも拍手を送るという場面がありました。副団長の6年に後で聞くと「1年生が自分で考えることが大切だから(2・3年生に声をかけた)。」と話していました。

2・3年生、6年生、団長それぞれが、困っている1年生の気持ちを汲み取り、自分のできることは何かを考えての行動だったと思います。



【結団式 赤団】



【結団式 白団】

「自分で考えて、判断し、行動する」ことを昨年度から大切にしてきましたが、一つ一つの場面に立ち止まって、どう考えて行動したのかを確認したり、互いの行動を理解したりすることで、よりよい判断、行動ができるようになっていくと感じました。中学生と一緒に活動できることでよりよい判断や行動をその場で学ぶことができる、そんなありがたさを感じた場面でした。

(高田 公美)